

2025 年度神戸市総合防災訓練 企画・運営支援業務 業務仕様書

1. 業務の目的

本市は、2025 年 1 月 17 日に、阪神・淡路大震災発生から 30 年が経過したが、震災を経験した職員の減少による市の防災対応力の低下が懸念される現状を踏まえ、南海トラフ巨大地震や直下型地震の発生時に対応できる体制を構築するため、「2025 年度神戸市総合防災訓練」を実施する。

本業務は、「2025 年度神戸市総合防災訓練」を行うにあたり、訓練の企画、運営、結果の取りまとめについて必要な支援を行うことを目的とする。

2. 委託期間

契約締結の日から 2026 年 3 月 31 日まで

3. 訓練の概要

(1) 目的

- ・ 阪神・淡路大震災を経験した職員の減少による市の防災対応力の低下が懸念される現状を踏まえ、各局室区の職員を対象として実践的な総合防災訓練を実施することにより、南海トラフ巨大地震や直下型地震の発生時に対応できる体制を改めて構築する。
- ・ 2024 年度に実施した総合防災訓練では、勤務時間外に大規模地震が発生したことを想定し、特に発災直後から第 1 回災害対策本部員会議までを重点的に実施したことを踏まえ、2025 年度は第 1 回災害対策本部員会議実施後以降の内容を訓練する。
- ・ 2019 年から導入した総合防災情報システム「神戸市危機管理システム」(※ 1) を訓練で活用し、システムの機能向上、市職員の習熟に繋げる。
- ・ 関係機関も訓練に参加することで、関係機関との連携についても検証する。

(3) 訓練の実施

①時期

2026 年 1 月の土日祝のうちいずれか 1 日を想定（訓練時間は 3 時間程度を想定）

②参加者

神戸市職員（区役所含む）、関係機関

③訓練想定

ア 想定災害

大規模地震の発生を想定

（南海トラフ地震または阪神・淡路大震災クラスを想定）

イ 想定期間

第 1 回災害対策本部員会議以降

※発災後に第 1 回本部員会議を実施したものとして、訓練内容に含まない

④訓練内容（例）

- ・ 第 1 回災害対策本部員会議で決定した事項の実施に係る調整
 - ・ 被害状況に関する情報収集と対応策の検討
 - ・ 避難者への対応策の検討
 - ・ 復旧に関する対応方針の検討
 - ・ 関係機関との連携
- 等

⑤会場

神戸市役所本庁、各区役所

4. 業務内容

（1）計画準備

本業務の目的、関連する法令・契約図書、神戸市の現況、これまでの防災訓練の実施状況等について十分把握の上、実施方針、検討条件・方法、工程、実施体制等を検討し、業務計画書を作成する。

（2）訓練内容の企画・検討支援

受託者は、発注者が行う訓練の企画・検討について、以下の支援を行う。

- ・ 発注者との協議に基づき、訓練に関して、目的、実施時期・会場配置、想定災害の概要、実施項目とその概要等を取りまとめた、企画概要書を作成する。
- ・ 訓練において前提条件とする地震災害の条件（震源・マグニチュード、市内各区の震度、津波浸水範囲、気象条件等）を設定する。
- ・ 設定した条件に基づき、訓練統制に関する全体的なシナリオを作成する。
- ・ 上記の全体的なシナリオに適合した各局室区の所管施設の被害状況、活動報告内容等の各局室区の訓練シナリオ案を作成し、この被害状況や各局室区の訓練シナリオ案を基に、各局室区の意見を反映させるなど必要な支援・提案を行い、被害状況や各局室区の訓練シナリオを完成させる。
- ・ 特に、実際に災害が発生した場合の各局室区の役割や実情に即した訓練ができるようなシナリオを作成する。
- ・ 庁内の幅広い局室区が参加できるようなシナリオとなるよう必要な提案・助言を行う。
- ・ 助言にあたっては、他都市等で実施している優れた訓練及び他都市における実災害への対応の優れた点並びに課題となった点などを情報収集のうえ、行う。
- ・ 前記の訓練シナリオに基づき、訓練を運営する事務局が行う状況付与のタイミングや、訓練参加者の行動、想定される対応等を検討し、訓練タイムライン及び状況付与計画と

して作成する。

- ・ 予定調和型ではなく、より実践的な訓練内容や訓練の進め方となるよう必要な提案や助言を行う。
- ・ より実践的な訓練となるように、参加する関係機関の選定や、参加方法について必要な提案や助言を行う。

(3) 訓練の運営支援

受託者は、訓練前日、訓練当日の会場準備、運営及び撤収等を支援する。また、訓練当日に支援者を派遣し、訓練の運営を支援する。支援者は、訓練の円滑な進行のため、事務局として、各参加者の対応や進行状況に応じた状況付与の時間管理など全体の進行管理を行い、必要に応じた是正対応、その他進行に関わる支援を行う。さらに、訓練記録として訓練状況の写真・ビデオ撮影等を行う。

(4) 訓練結果・アンケート等の取りまとめ

受託者は、各局室区の本部会議における報告内容等を整理し、訓練結果としてとりまとめる。また、今後の改善に向けた課題抽出等のため、訓練参加者向けのアンケート項目を検討し、アンケート用紙（電子ファイルで回答可能とする）を作成する。また、アンケート結果の整理・集計・分析を行う。

なお、アンケートの配布・回収は発注者において行う。

(5) 報告書作成

本業務における検討条件・内容、訓練企画及び運営支援として作成した資料、訓練アンケート結果等を整理し、業務報告書としてとりまとめを行う。なお、業務報告書においては、今後に向け、訓練の課題・反省点の整理やそれに基づく改善策の提案を含めるものとする。

(6) 打合せ協議

打合せ協議は、初回と訓練直前の打合せは対面での実施とする。それ以外の打合せは、双方協議の上、WEB 開催も可とする。打合せ日程については、企画提案書に明記すること。

(7) その他

訓練における「神戸市危機管理システム」の活用については、訓練シナリオに基づき、「神戸市危機管理システム」の運用・保守委託事業者と本業務の発注者で検討することとする。

5. 成果品

業務報告書電子データ（CD等）：2 枚

6. 参考

(※1) 神戸市危機管理システム

機 能：情報共有機能、判断支援機能、一括情報発信機能

ベンダー：株式会社 NTT データ関西